

令和8年度「実施計画 兼 まちづくり達成状況報告書」（事務事業点検シート）

課等名：財政課

シート No.：119

作成日：2026. 9/25

（１）総合計画上の位置付けと事務事業の背景・目的と目標

後期基本計画	施策の大綱	Ⅷ行政運営の効率化	事務事業の背景・目的	事務事業の目標
	施策の目標	1 市民満足度の高い行財政運営を進める	類似団体の決算額構成比を比較すると、公債費の割合が高く（令和6年度：当市11.2%、類似団体8.1%）、公営企業会計の企業債残高が増加していることから、実質公債費比率について高い状態となっています（令和6年度：当市7.6%、類似団体6.5%）。 また、基金残高は水害前の水準を超えましたが、類似団体と比較すると低い値（令和6年度人口1人当たり積立金：当市122,837円、類似団体156,076円）となっています。 公債費や基金の残高について類似団体平均水準を目標とすることで、財政の健全化に繋げていきます。	・事業実施における国県支出金をはじめとした特定財源の意識付け、市の財政状況の把握・分析による事務事業の見直し等を推進するため、財政研修を定期的の実施し、啓発することで、一般財源の有効活用に努めます。 ・交付税措置のない起債の借入を取りやめるなど、借入に頼らない予算運営を実施することにより、地方債残高を減少させ、将来負担の軽減を目指します。 ・上記の取組みにより財源の確保ができた時には、基金への積立を実施することで積立金残高を増加させ、将来の負担に備えます。 ・財政調整基金は当面残高を維持することとし、今後支出が見込まれる特定目的基金（公共施設整備基金等）へ優先的に積立を実施します。
	施策	2 財政運営		
	施策内容	財政運営の適正化		
	その他、拠法令及び分野別計画等	地方公共団体の財政の健全化に関する法律		
事務事業名		財政の健全化		

（２）アクティビティ（活動・事業）とアウトプット（結果）

（３）インプット（投入）

No.	アクティビティ（活動・事業）		アウトプット（結果）			R8 予算額	R8 決算額
	活動名・事業名 （対象年）	R8活動・事業内容	指標名（単位）	R8目標値	R9目標値		
				R8実績値	R10目標値		
①	職員研修の開催 （R8・9・10）	市の財政状況の把握や健全化など、財政に係る意識の醸成するため、職員研修を実施します。	研修受講者（人）	50	50	0 千円	千円
②	自発的な予算編成の実施 （R8・9・10）	事務事業見直し等を推進するため、令和6年度より導入している「枠配分経費による予算要求」を継続します。	—	—	—	0 千円	千円
③	基金積立額 （R8・9・10）	将来の負担に備えて、基金への積立を実施します。	積立額（千円）	400,000	400,000	282,046 千円	千円
④	地方債借入額 （R8・9・10）	将来負担の軽減を目的とし、交付税措置のない地方債の借入を必要最小限とする。	借入額（千円）	200,000	200,000	319,400 千円	千円
⑤						千円	千円
⑥						千円	千円
⑦						千円	千円
⑧						千円	千円
⑨						千円	千円
⑩						千円	千円

（４）アウトカム（成果）

成果に関連する上記（２）の活動名・事業名（No.）	指標名（単位）	指標の設定理由と目標値の根拠 （目標値を達成することにより市として何が達成されるか）	R7現状値	R8目標値	R8実績値	目標年度
						目標値
③基金積立額	積立金残高（一般会計）	将来予想される支出に備えるための指標 令和6年度決算における類似団体の一人当たりの基金残高から目標値を設定	7,766 百万円	8,010 百万円		令和10年度 8,500百万円
④地方債借入額	実質公債費比率	将来負担を軽減するための指標 令和6年度決算における類似団体の数値を目標値に設定	7.4%	6.5%		令和10年度 6.5%

（５）目的・成果の達成に向けた点検・改善

業務の振り返り	改善の余地	今後の方向性
	☐ コスト ☐ 活動 ☐ 成果 ☐ その他	